

## 〔畜産農家の声〕

### フォーベルネット会員

鏡野町 老伽 紀美子さん  
美作県民局 畜産班

笑顔の素敵な、鏡野町の老伽 紀美子さんは、28年前に長崎県からここ岡山に来られ、縁あってご主人と結婚されました。当初は、F1・和牛肥育等をされていましたが、徐々に和牛繁殖に転向され、現在は繁殖和牛を70頭ほど飼育されています。

お話を伺うなかで、牛への愛情がひしひしと伝わってきたのですが、意外なことに、当初は牛が怖かったという紀美子さん。そんな紀美子さんにとって、牛が身近に感じられるようになったのは、仔牛へのほ乳を始めたことからでした。

ここ、老伽牧場では平成13年から和牛仔牛への人工ほ乳を行っているそうです。ほ乳を行うことによって段々と牛が身近に感じられるようになり、自分が育てた、人なつこい牛たちが可愛くてしょうがないと、微笑んでおられました。

また、老伽牧場では早期発見・早期治療がモットーとのことで、餌やりの時には特に気を付けて観察しているそうです。でも、観察眼ではご主人のほうが勝っているとのことで、「時々怒られるのよ」と笑っておられました。

趣味はガーデニングとのことで、今後時間ができたら、もっとたくさんの花や野菜作りをしてみたいとのことでした。

最近では、ご近所さんのお子さん達が、小さな手に軍手をはめて、小さな長靴を履いて、餌やり時にはお手伝いに来てくれるそうです。まったく牛を怖がることもなく、小さな体で喜んでお手伝いしてくれる姿に、「将来の跡継ぎかな」と紀美子さんも嬉しそうでした。

最後に何かありますか、と伺ったところ、いつ

も感謝していることがあり、お礼を言いたいとのことでした。

毎回、真庭市で開催される仔牛市で、

仔牛を出荷している老伽牧場ですが、どうしても出荷の時には人手が足りなく、市ではバタバタしてしまうそうです。そんな時に、いつも快く手を貸してくれる農家の皆様に「いつも、快く手伝ってくださってありがとうございます。手伝ってくださっているのにいつもちゃんとお礼を言えないから、この場を借りて是非」とのことでした。

動物が大変好きだという紀美子さん。お話を伺う途中にも愛猫のしまじろう君が、リラックスした姿でゴロンと微睡んでいました。他にも、玄関先に巣を作っているツバメやスズメ、ミニブタのはなちゃんや犬のてつくん、子猫のポニョちゃんなどたくさんの動物に囲まれて、にっこりと微笑む素敵な紀美子さんでした。



愛猫のしまじろう君です。ソファをほぼ占領してスヤスヤ。